

インターネット回線など新型設備もそなえた学生用共同アパート(京都市左京区)



昔と現代良さを融合

北区ของบริษัท 新型学生住宅を提案

学生寮のような共同生活ができ、インターネット回線なども備えた学生用共同アパートを不動産業の「フラット・エージエンシー」(京都市北区)が京都市左京区で新築し、十四日に見学会を開いた。学生の意見を取り入れて交流スペースを設置するなど、昔と現代のよいところを生かした新たな学生用の賃貸住宅を提案している。

共同アパート「シェア・フラット」は、建物面積が約四百五十平方メートルで、計二十一の個室(広さ七畳)がある。個室には、光ファイバーのネット回線やエアコンを完備。共用の談話室や台所、トイレを設置することで、工事費や管理費を低くし月額家賃を二万九千円に抑えた。

来年一、二月ころから入居を開始し、学生が門限や入浴時間など学生寮のような独自規則も定めるといふ。

大学生の意見を取り入れて、木造住宅を学生用共同アパートに改修する事業をこの二年間で三棟実施し、入居者に好評を得ている。同社は「学生には仲間と楽しく共同生活をしたいニーズが高まっている。集団生活で会社のルールを学んでほしい」と話している。